

令和4年度（第19回） ロービジョンケア講習会

（旧 低視覚者社会適応訓練講習会）

開催期間(Web開催)：令和4年9月21日（水）～9月27日（火）

主催：一般社団法人大阪府眼科医会
共催：公益社団法人日本眼科医会
後援：一般社団法人大阪府医師会
社会福祉法人日本ライトハウス

講演内容

（1）「視覚障害者が使って便利な最新の情報機器の紹介」

講師 林 田 茂 先生

（日本ライトハウス情報文化センター サービス部長）

（2）「眼科でできるロービジョンケア～どんな患者さんにどんなケアができるのか～」

講師 鎌 田 さや花 先生

（京都府立医科大学眼科 助教）

講演（1）「視覚障害者が使って便利な最新の情報機器の紹介」

日本ライトハウス情報文化センター サービス部長
林 田 茂 先生

情報文化センター（点字図書館）サービスフロアは、2001年「グッズ（機器や用具）を活用して楽しく、豊かな生活を！」をキャッチフレーズに「エンジョイ！グッズサロン」としてオープン。視覚障害者向けの用具や電子機器を常設展示。利用相談や手ほどき、販売を行っています。また、近年では特に利用が増え続けるスマートフォン（アプリ）の紹介や、新開発の機器、ウェアラブル機器等の利用支援、サピエ図書館の利用促進・啓発にも力を注いでいます。

※YouTubeチャンネル開設『ニポラチャンネル：第35回 エンジョイ！グッズサロンってどんなところ？』

<https://www.youtube.com/watch?v=qZ3KAV5H4BA>

今回は、視覚障害の方への情報提供サービスの現状と実体、取り扱っている様々な機器や用具、私たちが心がけてる当事者の方に寄り添った支援についてお話しさせていただきます。

プロフィール：2004年社会福祉法人日本ライトハウス入職。製作部（録音図書製作係）、総務部を経て、2020年より情報文化センターサービス部長。バリアフリー上映会など、地域・関係団体と連携して多数のバリアフリー企画を担当。また、視覚障害の方が楽しめる耳で聴く映画「シネマデ・イジー」を発案し全国に展開。障害者放送協議会委員（日本盲人社会福祉施設協議会 情報アクセシビリティ委員）、視覚障がい乳幼児研究会 役員。

講演 1 の参考資料です

◆サービスフロア（エンジョイ！グッズサロン）の利用状況 2021 年度

- 来館利用者数 4,251 人
- ※2019 年度の年間来館者数 5,028 名
- パソコン Q&A 電話利用件数 3,999 件
- ICT 機器個人講習件数 449 件
- ※オンライン内 100 件



大阪市の場合（日常生活用具給付）

対象品目	耐用年数	給付限度額
等級関係なし		
視覚障がい者用拡大読書器（音声拡大読書器を含む）	8 年	198,000 円
2 級以上		
視覚障がい者用ポータブルレコーダー （デジータ図書再生機）録音再生機	6 年	89,800 円
視覚障がい者用時計（音声式）	10 年	13,300 円
視覚障がい者用時計（触読式）	10 年	10,300 円
視覚障がい者用体温計（音声式）	5 年	9,000 円
視覚障がい者用体重計	5 年	18,000 円
視覚障がい者用血圧計（音声式）	5 年	15,000 円
電磁調理器	6 年	15,000 円

○自治体によって異なります。

対象品目や給付条件、給付限度額、耐用年数などが自治体（市町村）によって異なりますので、役所の福祉課へお問い合わせ（確認）ください。

○給付限度額の自己負担

各対象品目に給付限度額が決まっています。それを超える分は自己負担となります。また、給付限度額内でも一部自己負担が発生する場合があります。

※給付限度額内の 1 割を基本の自己負担額としているところが多いですが、大阪市の場合は、世帯収入（課税状況）によって細かく負担額が区分けされています。

○耐用年数

対象品目ごとに耐用年数が決まっており、一度給付を受けると一定期間は再申請ができません。

大阪市の場合（日常生活用具給付）

対象品目	耐用年数	給付限度額
2 級以上		
点字器（標準型）	7 年	10,800 円
点字器（携帯用）	5 年	7,500 円
点字タイプライター	5 年	63,100 円
点字ディスプレイ	6 年	383,500 円
情報・通信支援用具（PC ソフト）	5 年	100,000 円
視覚障がい者用活字文書読み上げ装置	6 年	115,000 円
視覚障がい者用地上デジタル放送対応ラジオ	5 年	29,000 円
IC タグレコーダー	6 年	59,800 円
歩行時間延長信号機用樹型送信機	10 年	12,000 円
音声式スケール	5 年	24,000 円

※視覚障害者のみの世帯、またはこれに準ずる世帯などの条件がつく場合があります。
※学齢児以上などの条件がつく場合があります。

補装具給付

対象品目	耐用年数
等級関係なし	
視覚障害者安全つえ（白杖）軽金属	4 年
視覚障害者安全つえ（白杖）繊維複合材料	2 年
眼鏡類：矯正眼鏡、弱視眼鏡、遮光眼鏡、 コンタクトレンズ	4 年
義眼	2 年

※限度額は、構造・内訳等によって異なります。

講演（２）「眼科でできるロービジョンケア

～どんな患者さんにどんなケアができるのか～」

京都府立医科大学 眼科
鎌 田 さや花

医学の進歩した現代にあっても、いまだ有効な治療がない・治療しても見えにくい疾患は多く存在する。もちろん患者さんは治療により『治る』ことを最も期待して医療機関を受診しているが、その一方で見えにくさから様々なことに不自由を生じている。こうした不自由さを理解し、必要な福祉サービス・教育関係機関等に適切なタイミングでつなぐこと・少しでも不自由を緩和する手立てを共に考えること（＝ロービジョンケア）もまた医療機関の重要な役目の一つである。

最近ロービジョンケアという言葉自体は広まりつつあるように感じる。ただ、患者さんの視力を数値としては知っていても、それがどんな場面でどのくらい困るのかの想像はつかなかったり、どんな患者さんにどんなロービジョンケアが役に立つのか、についてはあまり知る機会がない。

本講演では、眼科でできるロービジョンケアについて解説する。ぜひ明日からの診療にもお役立ていただければ幸いである。

ご略歴：

平成 17 年 京都府立医科大学 卒業
平成 17 年～18 年 京都府立医科大学 初期臨床研修
平成 19 年～ 京都府立医科大学 眼科 前期専攻医
平成 20 年～ 京都市立病院 眼科
平成 27 年～ 京都中部総合医療センター眼科 医長
平成 29 年 2 月～ 京都府立医科大学附属病院 眼科 後期専攻医
令和元年 9 月～（現在に至る）
京都府立医科大学 眼科 助教